

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

この技術情報は Catalyst 3850 スイッチのある特定のサポートされた GBIC (か SFP) 光 トランシーバ モジュールによってよくある問題および緩和技術を論議します。

問題

Catalyst 3850 スイッチの仕様 GBIC を挿入するとき次のエラーログを得ることができます:

問題は GLC-SX-MMD およびサードパーティずっと SFP と一般に見られています。

解決策

SFP、サブモジュール (C3850-NM) または 3850 バックプレーンにおいてのハードウェア上の問題としてこれを考慮する前に次のポイントに留意して下さい。

1. SFP およびスイッチ、サブモジュールおよびソフトウェア バージョン間の互換性を確認して下さい。これらの互換性マトリックス 文書を参照できます。

[ギガビット イーサネット トランシーバ モジュール 互換性 マトリックス](#)
[10 ギガビット イーサネット トランシーバ モジュール 互換性 マトリックス](#)

2. (大抵それらがサードパーティによって製造される場合の) Catalyst 3850 スイッチではたらくますいくつかの SPF 必要設定および操作。操作の後の試み:

SFP モジュールを、shutdown/no shutdown ポート取り外して下さい、SFP モジュールを挿入して下さい。

3. 次のソフトの欠陥を考慮に入れて下さい:

[CSCut94443](#) - GLC-SX-MMD は OIR の後で認識されません

[CSCuj31712](#) - OIR に err-disable へのある特定のベンダー Sfp 強制ポート

それらのバグを見つけるかどうかかどうか安定した コードのバージョンに行くことを推奨します。cisco.com の推奨されるバージョンはこの種類の事件の固定を助けました。次に挙げるドキュメントはこれのために参照することができます。

[アップグレードガイド](#)

[Software Download ページ](#)